

BOOK 本の紹介

持続可能な社会のための環境教育シリーズ [5] 環境教育と開発教育 実践的統一への展望：ポスト2015のESDへ

鈴木敏正、佐藤真久、田中治彦 編著 筑波書房(2014年7月)
定価2,800円(+税) ISBN978-4-8119-0442-9

冷戦後のグローバリゼーションが生み出した地球規模の諸問題。それを解決するための学習・教育実践は「環境教育」「開発教育」によって展開されてきた。「地球環境問題」と「貧困・社会的排除問題」という「双子の基本問題」が複雑さを増す今、「持続可能で包摂的な社会」づくりにむけてふたつの教育を「実践的統一」することを提起する。



日本標準ブックレット No.9 未来をつくる教育 ESD のすすめ —持続可能な未来を構築するために—

多田孝志、手島利夫、石田好広 共著 日本標準(2008年12月)
定価600円(+税) ISBN978-4-8208-0383-6

ESDの理念を学校現場の視点から解説するとともに、3年あまりにわたり実際にESDに取り組んだ東京都江東区立東雲小学校の試行錯誤の過程とその効果を示した実録集。学校現場の教師を読み手として想定しているの、具体的で実践的な指南書としての役割をはたしながら、教師の役割そのものを問い直す必要性も提示している。



未来のイノベーターはどう育つのか 子供の可能性を伸ばすもの・つぶすもの

トニー・ワグナー著、藤原朝子訳 英治出版(2014年5月)
定価1,900円(+税) ISBN978-4-86276-179-8

『イノベーションの世界で最も重要なものは、新しい状況や問題に直面したとき、学問的な知識を応用できることだ。(P73)』
「イノベーターは育てられる」という視点に立ち、子育てや指導方法にも言及している。遊びの重要性や、親が子供を信頼する大切さなど、これからの時代を生きる若者に必要な力とは何かについて考えさせられる一冊。



じぶんの学びの見つけ方

山崎直子、石戸奈々子、柴田元幸、村上恭和ほか著 フィルムアート社(2014年7月)
定価1,800円(+税) ISBN 978-4-8459-1434-0

直接ESDに関係のある内容ではないが、さまざまな生き様を持つ筆者達から、学びの場や機会というものは、いつでもどこにでもあり、形も人それぞれだということに気づかされる。これからESDに関わっていくにあたり、「子供の気づき」をどのようにして引き出すか!という問題のヒントが沢山詰まっている。



みんなが主役! わくわくファシリテーション授業

にいがたファシリテーション授業研究会編 新潟日報事業社(2013年11月)
定価1,600円(+税) ISBN978-4-86132-552-6

「答え」は誰かに与えられるのではなく、自ら考え行動することによって作り出す。それを経験する手法としてのファシリテーションの魅力进行分析。コミュニケーション能力の向上はもちろん、一人一人の心に問いを残し、当事者意識を育てる事例を解説する。教育従事者だけでなく参加者が安心できる話し合いの場づくりに関心がある人は必読。



奇跡のむらの物語 1000人の子どもが限界集落を救う!

辻英之編著 農山漁村文化協会(2011年11月)
定価1,700円(+税) ISBN978-4-540-11106-8

地域に根差した暮らしの中にこそ、すべての「学び」がある。25年という歳月をかけ、ヨソモノと村人が本気で取り組んだ「未来」。子どもの力、仲間の力、地域の力、自然の力が生み出した自律の心は、子どもも大人もヨソモノも巻き込み、限界集落を「教育で立つ村」に変えた。子どもの教育には、本気の大人が必要だということがよく分かる。

